

第8節 大阪市二次医療圏

1. 外来医療体制（全般）

（1）医療機関の設置状況

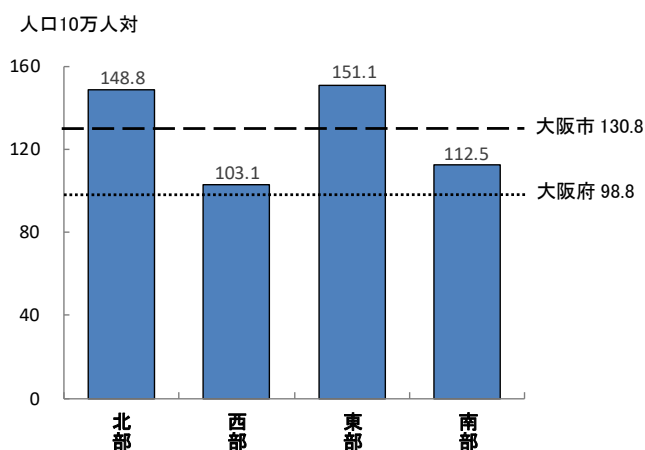
【外来医療機関数】

○令和3年10月1日現在、外来医療機関数は、一般診療所が3,605施設（平成30年には3,464施設）、病院が176施設（同175施設）となっており、一般診療所では人口10万人対でみると、大阪府平均を上回っています。

図表 3-8-1 外来医療機関数(令和3年)

	一般診療所		病院		合計	
	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
北部	1,041	96.6%	37	3.4%	1,078	100%
西部	504	94.7%	28	5.3%	532	100%
東部	1,157	94.8%	63	5.2%	1,220	100%
南部	903	95.0%	48	5.0%	951	100%
大阪市	3,605	95.3%	176	4.7%	3,781	100%
大阪府	8,680	94.5%	509	5.5%	9,189	100%

図表 3-8-2 人口10万人対外来医療機関数【一般診療所】(令和3年)

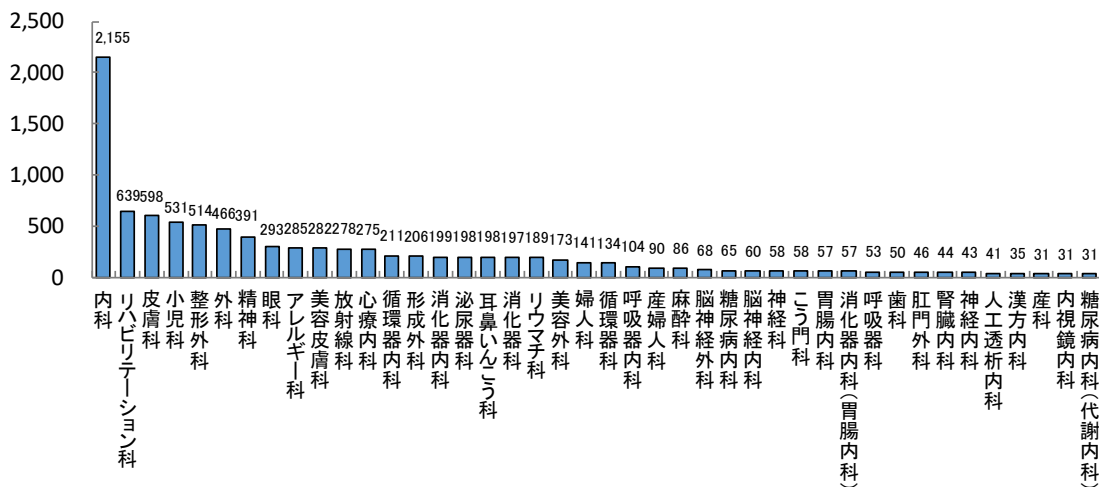


出典 厚生労働省「医療施設動態調査」
 ※「人口10万人対」算出に用いた人口は、大阪府総務部「大阪府の推計人口(令和4年10月1日現在)」

【診療科別の設置状況(一般診療所)】

○令和5年10月1日現在、一般診療所の診療科目の標榜状況をみると、「内科」が2,155施設(総数の59.8%)で最も多く、次いで、「リハビリテーション科」639施設(同17.7%)、「皮膚科」598施設(同16.6%)となっています。

図表 3-8-3 診療科別の設置状況(標榜が30施設以上の診療科のみ)【一般診療所】(令和5年)

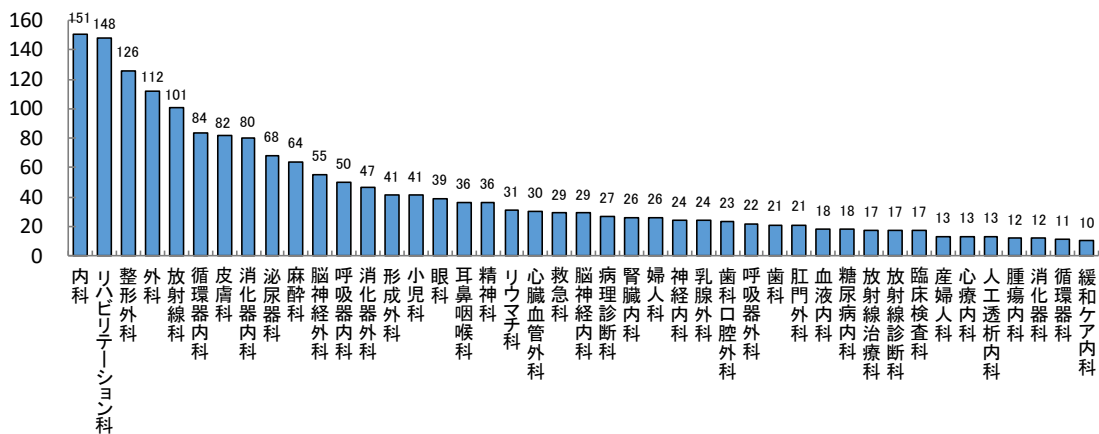


出典 大阪府「医療機関情報システム」

【診療科別の設置状況(病院)】

○令和5年10月1日現在、病院の診療科目の標榜状況をみると、「内科」が151施設(総数の85.8%)で最も多く、次いで、「リハビリテーション科」148施設(同84.1%)、「整形外科」126施設(同71.6%)となっています。

図表 3-8-4 診療科別の設置状況(標榜が10施設以上の診療科のみ)【病院】(令和5年)



出典 大阪府「医療機関情報システム」

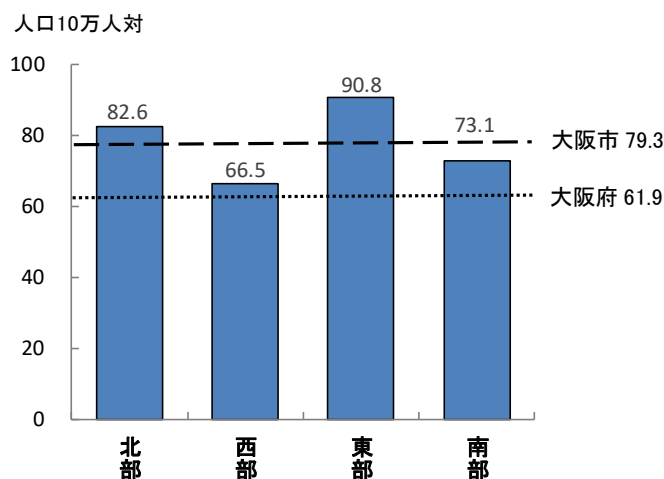
【歯科診療所数】

○令和3年10月1日現在、歯科診療所数は、2,185施設（平成30年には2,222施設）となっており、人口10万人対で見ると、大阪府平均を上回っています。

図表 3-8-5 歯科診療所数(令和3年)

	歯科診療所
	施設数
北部	578
西部	325
東部	695
南部	587
大阪市	2,185
大阪府	5,442

図表 3-8-6 人口10万人対歯科診療所数(令和3年)



出典 厚生労働省「医療施設動態調査」
 ※「人口10万人対」算出に用いた人口は、大阪府総務部「大阪府の推計人口(令和4年10月1日現在)」

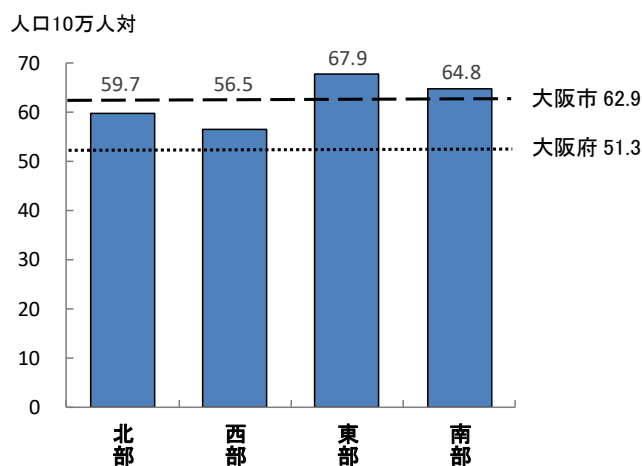
【薬局数】

○令和5年9月1日現在、薬局数は、1,734施設（令和元年には1,626施設）となっており、人口10万人対で見ると、大阪府平均を上回っています。

図表 3-8-7 薬局数(令和5年)

	薬局
	施設数
北部	418
西部	276
東部	520
南部	520
大阪市	1,734
大阪府	4,510

図表 3-8-8 人口10万人対薬局数(令和5年)



出典 近畿厚生局「保険医療機関・保険薬局等の管内指定状況等について」
 ※「人口10万人対」算出に用いた人口は、大阪府総務部「大阪府の推計人口(令和4年10月1日現在)」

【開設・廃止等の状況】

○令和元年 10 月から令和2年 9 月までの1年間における一般診療所の新規開設数は、160 施設、廃止数は 125 施設、病院の新規開設数は 1 施設、廃止数は 1 施設となっています。

図表 3-8-9 開設・廃止等施設数(令和元年から令和2年)

市区町村		一般診療所				病院			
		開設	廃止	休止	再開	開設	廃止	休止	再開
北部基本 保健医療圏	都島区	3	2	0	0	0	0	0	0
	東淀川区	7	4	1	1	0	0	0	1
	旭区	6	2	1	0	0	0	0	0
	淀川区	6	10	2	0	0	0	0	0
	北区	40	15	4	1	0	0	0	0
西部基本 保健医療圏	福島区	2	1	0	0	0	0	0	0
	此花区	1	1	0	0	0	0	0	0
	西区	10	4	1	1	0	0	0	0
	港区	1	1	0	1	0	0	0	0
	大正区	2	1	1	0	0	0	0	0
	西淀川区	1	0	0	0	0	0	0	0
東部基本 保健医療圏	天王寺区	4	4	0	0	0	0	0	0
	浪速区	3	2	2	1	0	0	0	0
	東成区	4	6	4	0	1	1	0	0
	生野区	3	8	5	0	0	0	0	0
	城東区	5	6	3	0	0	0	0	0
	鶴見区	2	2	2	0	0	0	0	0
	中央区	36	31	7	1	0	0	0	0
南部基本 保健医療圏	阿倍野区	4	6	4	0	0	0	0	0
	住吉区	7	6	0	0	0	0	0	0
	東住吉区	3	3	3	0	0	0	0	0
	西成区	2	6	3	0	0	0	0	0
	住之江区	5	2	2	0	0	0	0	0
	平野区	3	2	1	0	0	0	0	0
大阪市		160	125	46	6	1	1	0	1
大阪府		348	285	86	24	5	6	1	1

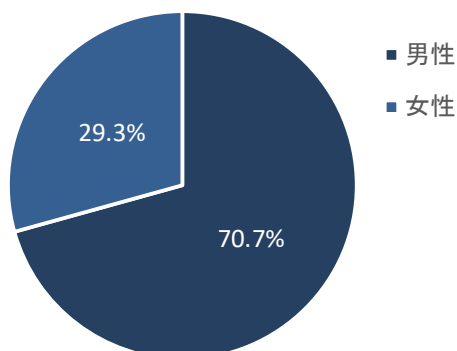
出典 厚生労働省「外来医師偏在指標に係るデータ集・グラフ」

(2) 外来に従事する医師

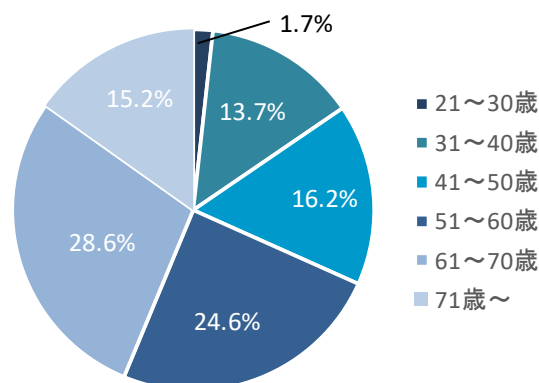
【性年齢別の医師の従事状況】

○令和 5 年 7 月 1 日現在、一般診療所における勤務医師の男女比は、男性 70.7%、女性 29.3% (令和元年には 72.2%、27.8%) となっており、年齢別にみると 51 歳以上の医師の割合が 68.4% (同 54.0%) となっています。

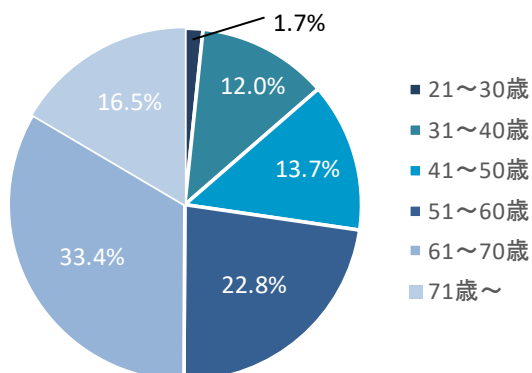
図表 3-8-10 医師(常勤・非常勤)の従事状況の男女割合【一般診療所】(令和5年)



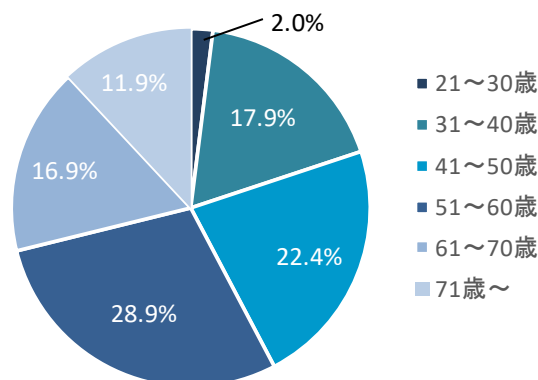
図表 3-8-11 医師(常勤・非常勤)の従事状況の年齢別割合【一般診療所】(令和5年)



図表 3-8-12 男性医師(常勤・非常勤)の従事状況の年齢別割合【一般診療所】(令和5年)



図表 3-8-13 女性医師(常勤・非常勤)の従事状況の年齢別割合【一般診療所】(令和5年)

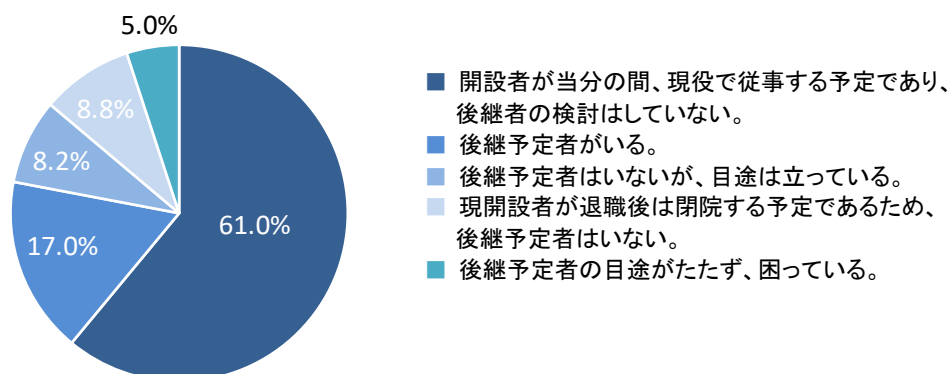


出典 大阪府「医師確保計画及び外来医療計画の策定のための実態調査」

【一般診療所の後継者の状況】

○令和5年 7月 1日現在、後継予定者の目途が立たず困っている一般診療所は全体の 5.0% (令和元年には3.0%) となっています。

図表 3-8-14 後継者の有無【一般診療所】(令和5年)



出典 大阪府「医師確保計画及び外来医療計画の策定のための実態調査」

(3) 外来患者の受入れ状況

【外来患者延べ数】

○令和元年度における外来患者延べ数は、一般診療所が 35,610,448 人（平成 29 年度には 32,792,542 人）、病院が 8,946,999 人（同 8,629,827 人）となっています（出典 厚生労働省「外来医師偏在指標に係るデータ集・グラフ」）。

【1医療機関当たりの推計外来患者延べ数】

○令和5年5月の1か月間から推計した、1医療機関当たりの外来患者延べ数は、一般診療所が 892.7 人（令和元年には 2,034.8 人）、病院が 7,357.2 人（同 8,780.2 人）となっています（出典 大阪府「医師確保計画及び外来医療計画の策定のための実態調査」）。

【外来での患者の待ち時間の状況】

○令和5年7月1日現在、患者一人当たりの待ち時間が平均 60 分を超えている医療施設の割合は、一般診療所が 9.8%、病院が 28.9%となっています（出典 大阪府「医師確保計画及び外来医療計画の策定のための実態調査」）。

【紹介状の持参の有無と外来対応の負担感の状況】

○令和5年7月1日現在、紹介状を持参しない初診の外来患者が増えている病院は 13 施設（調査回答施設合計の 28.3%）で、うち、6施設が、外来対応を負担に感じる医師が多くなっていると回答しています（出典 大阪府「医師確保計画及び外来医療計画の策定のための実態調査」）。

(4) 医療・介護施設等との連携

【一般診療所の医療・介護施設等との連携】

○令和5年 10 月1日現在、一般診療所において、病院との連携は全体の 50.2%（令和元年には 33.4%）、他の一般診療所との連携は 30.3%（同 19.8%）、歯科診療所との連携は 9.0%（同 4.3%）、薬局との連携は 33.7%（同 21.5%）、訪問看護ステーションとの連携は 37.0%（同 25.1%）、居宅介護支援事業所との連携は 27.1%（同 18.5%）となっています。

図表 3-8-15 連携機関の状況【一般診療所】(令和5年)

	連携先機関												一般診療所	
	病院		一般診療所		歯科診療所		薬局		訪問看護ステーション		居宅介護支援事業所			
	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	総計	割合
北部	469	42.3%	282	25.4%	84	7.6%	303	27.3%	320	28.9%	229	20.6%	1,109	100%
西部	305	59.0%	190	36.8%	69	13.3%	205	39.7%	218	42.2%	165	31.9%	517	100%
東部	597	48.3%	368	29.7%	102	8.2%	403	32.6%	434	35.1%	324	26.2%	1,237	100%
南部	542	57.1%	316	33.3%	90	9.5%	374	39.4%	438	46.1%	317	33.4%	950	100%
大阪市	1,913	50.2%	1,156	30.3%	345	9.0%	1,285	33.7%	1,410	37.0%	1,035	27.1%	3,813	100%
大阪府	3,928	43.7%	2,309	25.7%	760	8.5%	2,718	30.2%	2,949	32.8%	2,155	24.0%	8,989	100%

出典 大阪府「医療機関情報システム」

【病院の医療・介護施設等との連携】

○令和5年10月1日現在、病院において、他の病院との連携は全体の59.7%（令和元年には54.2%）、一般診療所との連携は58.0%（同52.5%）、歯科診療所との連携は21.0%（同12.4%）、薬局との連携は45.5%（同36.2%）、訪問看護ステーションとの連携は59.1%（同54.8%）、居宅介護支援事業所との連携は60.2%（同54.2%）となっています。

図表 3-8-16 連携機関の状況表【病院】(令和5年)

	連携先機関												病院	
	病院		一般診療所		歯科診療所		薬局		訪問看護ステーション		居宅介護支援事業所			
	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	総計	割合
北部	22	56.4%	22	56.4%	8	20.5%	18	46.2%	24	61.5%	24	61.5%	39	100%
西部	19	67.9%	16	57.1%	6	21.4%	10	35.7%	16	57.1%	18	64.3%	28	100%
東部	39	61.9%	38	60.3%	16	25.4%	30	47.6%	38	60.3%	38	60.3%	63	100%
南部	25	54.3%	26	56.5%	7	15.2%	22	47.8%	26	56.5%	26	56.5%	46	100%
大阪市	105	59.7%	102	58.0%	37	21.0%	80	45.5%	104	59.1%	106	60.2%	176	100%
大阪府	357	70.4%	338	66.7%	122	24.1%	264	52.1%	364	71.8%	345	68.0%	507	100%

出典 大阪府「医療機関情報システム」

2. 初期救急医療体制

(1) 休日・夜間急病診療所の設置状況

○令和5年9月1日現在、休日・夜間急病診療所は8施設（うち1施設は歯科医療機関）となっています。

図表 3-8-17 休日・夜間急病診療所の設置状況（令和5年9月1日現在）

医療機関名	市区町村	診療科目	診療受付時間	
			平日	休日
中央急病診療所	西区	内科	平日	22:00～翌5:30
			土曜日	15:00～翌5:30
			休日	17:00～翌5:30
		小児科	平日	22:00～翌5:30
			土曜日	15:00～翌5:30
			休日	17:00～翌5:30
		眼科	平日	22:00～翌0:30
			土曜日	15:00～21:30
			休日	10:00～21:30
		耳鼻咽喉科	平日	22:00～翌0:30
			土曜日	15:00～21:30
			休日	10:00～21:30
都島休日急病診療所	都島区	内科	平日	—
			土曜日	—
			休日	10:00～16:30
		小児科	平日	—
			土曜日	—
			休日	10:00～16:30
十三休日急病診療所	淀川区	内科	平日	—
			土曜日	—
			休日	10:00～16:30
		小児科	平日	—
			土曜日	—
			休日	10:00～16:30
西九条休日急病診療所	此花区	内科	平日	—
			土曜日	—
			休日	10:00～16:30
		小児科	平日	—
			土曜日	—
			休日	10:00～16:30
今里休日急病診療所	東成区	内科	平日	—
			土曜日	—
			休日	10:00～16:30
		小児科	平日	—
			土曜日	—
			休日	10:00～16:30
沢之町休日急病診療所	住吉区	内科	平日	—
			土曜日	—
			休日	10:00～16:30
		小児科	平日	—
			土曜日	—
			休日	10:00～16:30
中野休日急病診療所	東住吉区	内科	平日	—
			土曜日	—
			休日	10:00～16:30
		小児科	平日	20:30～23:00
			土曜日	—
			休日	10:00～16:30
大阪府歯科医師会附属歯科診療所	天王寺区	歯科	平日	21:00～翌3:00
			土曜日	21:00～翌3:00
			休日	9:30～16:00
			休日	21:00～翌3:00

出典 大阪府「医療機関情報システム」

【休日・夜間急病診療所への出務有無】

○令和5年7月1日から令和5年6月30日の1年間に、一般診療所で休日・夜間急病診療所への出務経験のある医師は17.4%となっています（出典 大阪府「医師確保計画及び外来医療計画の策定のための実態調査」）。

（2）時間外等に診療を行う外来施設数

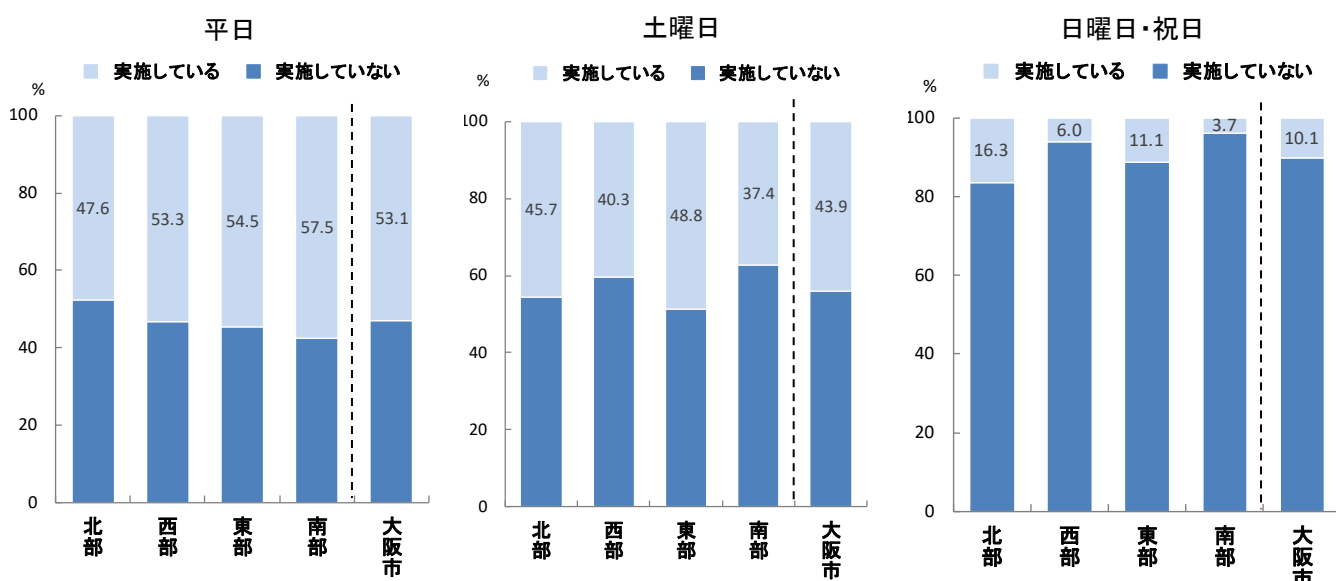
○令和5年7月1日現在、時間外^{注1}に診療している一般診療所は、平日において全体の53.1%（令和元年には55.2%）、土曜日において43.9%（同42.8%）、日曜・祝日において10.1%（同6.3%）となっています。

○夜間^{注2}に診療している一般診療所は、平日において全体の1.1%（令和元年には0.7%）、土曜日において0.5%（同0.2%）、日曜・祝日において0.4%（同0.2%）となっています。

図表 3-8-18 時間外等に診療を行う外来施設数【一般診療所】（令和5年）

	平日（時間外）		平日（夜間）		土曜日（時間外）		土曜日（夜間）		日曜日・祝日（時間外）		日曜日・祝日（夜間）		一般診療所	
	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	総計	割合
北部	515	47.6%	13	1.2%	495	45.7%	6	0.6%	177	16.3%	6	0.6%	1,083	100%
西部	274	53.3%	5	1.0%	207	40.3%	4	0.8%	31	6.0%	2	0.4%	514	100%
東部	651	54.5%	12	1.0%	583	48.8%	7	0.6%	133	11.1%	8	0.7%	1,194	100%
南部	533	57.5%	10	1.1%	347	37.4%	1	0.1%	34	3.7%	0	0%	927	100%
大阪市	1,973	53.1%	40	1.1%	1,632	43.9%	18	0.5%	375	10.1%	16	0.4%	3,718	100%
大阪府	4,985	58.4%	96	1.1%	3,188	37.4%	47	0.6%	634	7.4%	32	0.4%	8,530	100%

図表 3-8-19 時間外診療の実施状況【一般診療所】（令和5年）



出典 大阪府「医療機関情報システム」

注1 時間外は平日の6時から8時及び18時から22時、土曜日の6時から8時及び12時から22時、日曜日・祝日の6時から22時。

注2 夜間は平日、土曜日、日曜日・祝日ともに22時から6時。

図表 3-8-20 時間外等に診療を行う外来施設数【病院】(令和5年)

	平日(時間外)		平日(夜間)		土曜日(時間外)		土曜日(夜間)		日曜日・祝日(時間外)		日曜日・祝日(夜間)		病院	
	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	総計	割合
北部	15	39.5%	1	2.6%	13	34.2%	1	2.6%	3	7.9%	1	2.6%	38	100%
西部	5	18.5%	0	0%	12	44.4%	0	0%	0	0%	0	0%	27	100%
東部	23	38.3%	2	3.3%	21	35.0%	1	1.7%	1	1.7%	1	1.7%	60	100%
南部	14	30.4%	0	0%	13	28.3%	0	0%	2	4.3%	0	0%	46	100%
大阪市	57	33.3%	3	1.8%	59	34.5%	2	1.2%	6	3.5%	2	1.2%	171	100%
大阪府	168	33.5%	5	1.0%	137	27.3%	3	0.6%	12	2.4%	3	0.6%	501	100%

出典 大阪府「医療機関情報システム」

(3) 時間外等における外来患者数

【時間外等外来患者延べ数】

○令和元年度における時間外等外来患者延べ数は、一般診療所が 2,703,731 人（平成 29 年度には 287,888 人）、病院が 259,432 人（同 235,092 人）となっています（出典 厚生労働省「外来医師偏在指標に係るデータ集・グラフ」）。

【1医療機関当たり1日当たりの時間外等推計外来患者延べ数】

○令和5年5月の1か月間から推計した、1医療機関当たり1日当たりの時間外等患者延べ数は、診療所で 6.0 人（令和元年には 44.5 人）、病院で 9.9 人（同 24.0 人）となっています（出典 大阪府「医師確保計画及び外来医療計画の策定のための実態調査」）。

3. 在宅医療提供体制

(1) 在宅医療に関する状況

【訪問診療実施件数】

○令和2年9月の1か月間における訪問診療実施件数は、一般診療所が47,575件（平成29年には44,037件）、病院が4,599件（同5,069件）となっており、一般診療所では、人口10万人対で見ると、大阪府平均を上回っています（出典 厚生労働省「在宅医療にかかる地域別データ集」）。

【訪問診療実施施設数】

○令和2年10月1日現在、訪問診療実施施設数は、一般診療所が780施設（平成29年には773施設）、病院が58施設（同58施設）となっており、一般診療所では、人口10万人対で見ると、大阪府平均を上回っています（出典 厚生労働省「在宅医療にかかる地域別データ集」）。

○一般診療所のうち訪問診療を実施する施設の割合は22.4%、病院のうち訪問診療を実施する施設の割合は33.0%となっています（出典 厚生労働省「在宅医療にかかる地域別データ集」）。

【往診実施件数】

○令和2年9月の1か月間における往診実施件数は、一般診療所が6,903件（平成29年には6,869件）、病院が135件（同329件）となっており、一般診療所では、人口10万人対で見ると、大阪府平均を上回っています（出典 厚生労働省「在宅医療にかかる地域別データ集」）。

【往診実施施設数】

○令和2年10月1日現在、往診実施施設数は、一般診療所が726施設（平成29年には755施設）、病院が27施設（同33施設）となっており、一般診療所では、人口10万人対で見ると、大阪府平均を上回っています（出典 厚生労働省「在宅医療にかかる地域別データ集」）。

○一般診療所のうち往診を実施する施設の割合は20.8%、病院のうち往診を実施する施設の割合は15.3%となっています（出典 厚生労働省「在宅医療にかかる地域別データ集」）。

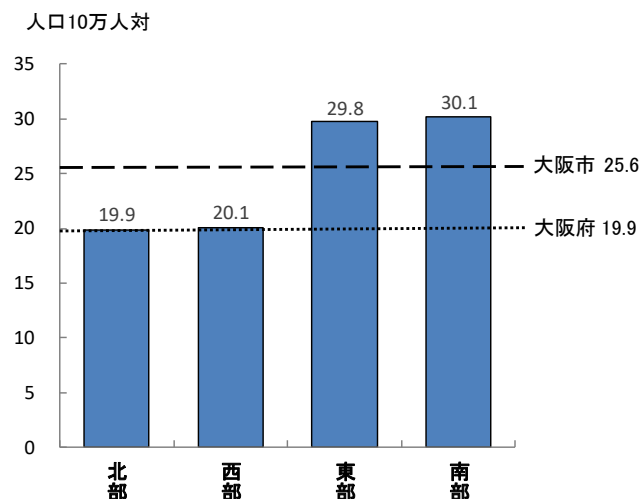
【在宅療養支援診療所数】

○令和5年における堺市二次医療圏の在宅療養支援診療所数は、707施設（平成29年には783施設）となっており、人口10万人対で見ると大阪府平均を上回っています。

図表 3-8-21 在宅療養支援診療所数
（令和5年）

	施設数
北部	139
西部	98
東部	228
南部	242
大阪市	707
大阪府	1,752

図表 3-8-22 人口10万人対在宅療養支援診療所数
（令和5年）



出典 近畿厚生局「施設基準の届出受理状況(全体)」
※「人口10万人対」算出に用いた人口は、大阪府総務部
「大阪府の推計人口(令和4年10月1日現在)」

(2) 在宅医療におけるグループ診療に関する状況

【グループ診療^{注1}の実施状況】

○令和5年7月1日現在、グループ診療を実施しているのは3.8%（令和元年には3.0%）となっています（出典 大阪府「医師確保計画及び外来医療計画の策定のための実態調査」）。

【グループ診療の円滑な実施に必要な事項】

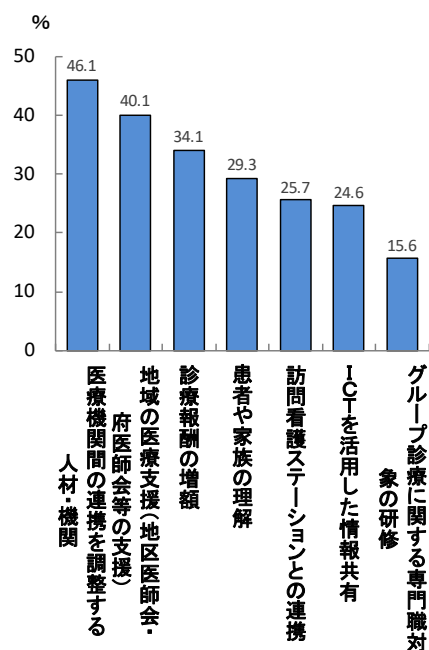
○令和5年7月1日現在、グループ診療の円滑な実施に必要な事項について、一般診療所では、「医療機関間の連携を調整する人材・機関」が最も多く、次いで「地域の医療支援（地区医師会・府医師会等の支援）」の順に多くなっています。

注1 グループ診療：「24時間365日の緊急時や看取りに対応するため、1人の在宅療養者を複数の医師が連携して診療すること」と定義しています。

図表 3-8-23 グループ診療の円滑な実施に必要な事項(令和5年)

グループ診療の円滑な実施に必要な事項	一般診療所			病院		
	施設数	調査回答施設合計	割合	施設数	調査回答施設合計	割合
医療機関間の連携を調整する人材・機関	77	167	46.1%	56	79	70.9%
地域の医療支援(地区医師会・府医師会等の支援)	67	167	40.1%	46	79	58.2%
診療報酬の増額	57	167	34.1%	37	79	46.8%
患者や家族の理解	49	167	29.3%	30	79	38.0%
訪問看護ステーションとの連携	43	167	25.7%	26	79	32.9%
ICTを活用した情報共有	41	167	24.6%	34	79	43.0%
グループ診療に関する専門職対象の研修	26	167	15.6%	15	79	19.0%

図表 3-8-24 グループ診療の円滑な実施に必要な事項【一般診療所】(令和5年)



出典 大阪府「医師確保計画及び外来医療計画の策定のための実態調査」

4. その他（公衆衛生活動等）

（1）公衆衛生活動（産業医、学校医、予防接種等）の実施状況

【産業医の出務有無】

○令和4年7月1日から令和5年6月30日の1年間に、一般診療所で産業医の出務経験のある医師は22.7%（平成30年8月1日から令和元年7月31日の1年間には25.0%）となっています（出典 大阪府「医師確保計画及び外来医療計画の策定のための実態調査」）。

【学校医の出務有無】

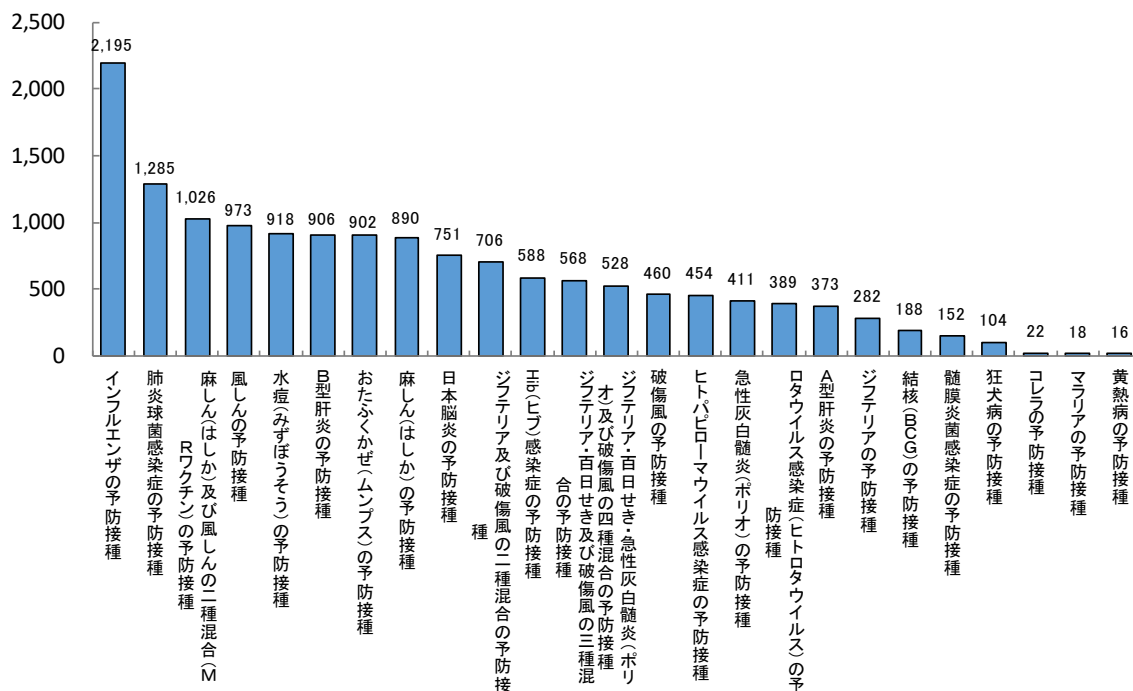
○令和4年7月1日から令和5年6月30日の1年間に、一般診療所で学校医の出務経験のある医師は19.5%（平成30年8月1日から令和元年7月31日の1年間には27.9%）となっています（出典 大阪府「医師確保計画及び外来医療計画の策定のための実態調査」）。

【予防接種実施医療機関数】

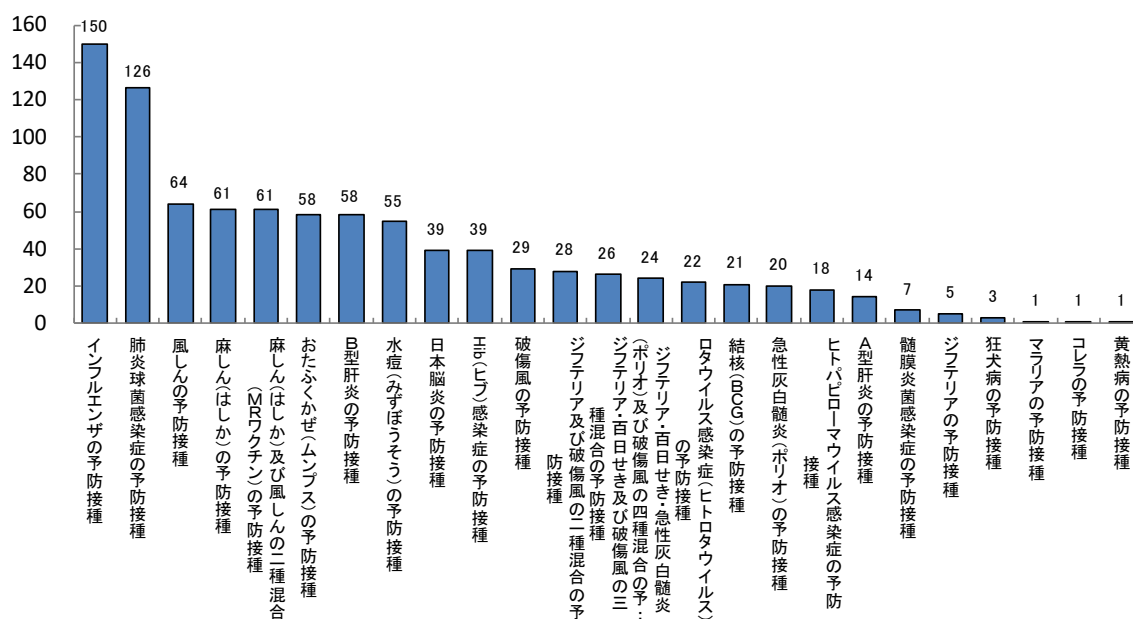
○令和5年7月1日現在、一般診療所において、ワクチン別に見ると最も多く予防接種が行われているのが「インフルエンザ」2,195施設、次いで「肺炎球菌感染症」1,285施設、次いで「麻疹及び風しん」1,026施設となっています。

○病院において、ワクチン別に見ると最も多く予防接種が行われているのが「インフルエンザ」150施設、次いで「肺炎球菌感染症」126施設、次いで「風しん」64施設となっています。

図表 3-8-25 予防接種実施医療機関数【一般診療所】(令和5年)



図表 3-8-26 予防接種実施医療機関数【病院】(令和5年)



出典 大阪府「医療機関情報システム」

5. 医療機器

(1) 医療機器の実態

【医療機器の保有医療機関数】

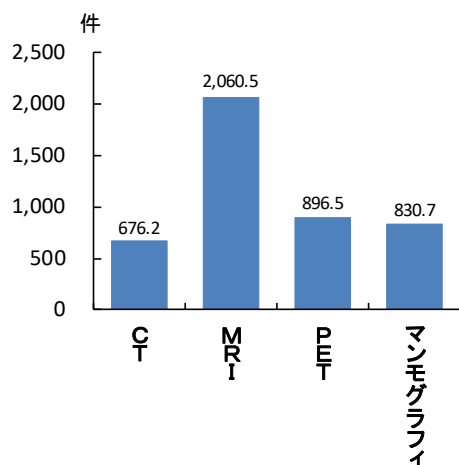
○令和5年7月1日現在、一般診療所における医療機器の保有割合は、CTは4.1%（令和元年には1.9%）、MRIは1.4%（同1.2%）、PETは0%（同0%）、マンモグラフィは1.9%（同4.3%）、放射線治療機器（リニアック及びガンマナイフ）は0%となっています（出典 大阪府「医療機関情報システム」）。

○病院における医療機器の保有割合は、CTは86.5%（令和元年には82.5%）、MRIは46.2%（同45.2%）、PETは4.7%（同4.0%）、マンモグラフィは26.3%（同26.0%）、放射線治療機器（リニアック及びガンマナイフ）は12.3%となっています（出典 大阪府「医療機関情報システム」）。

【医療機器の稼働率(医療機器1台当たりの検査件数)】

○令和元年度における、一般診療所での医療機器1台当たりの検査件数は、CTで676.2件（平成29年度には675.2件）、MRIで2,060.5件（同2,418.9件）、PETで896.5件（同897.8件）、マンモグラフィで830.7件（同803.4件）となっています。

図表 3-8-27 医療機器1台当たりの検査件数【一般診療所】(令和元年)

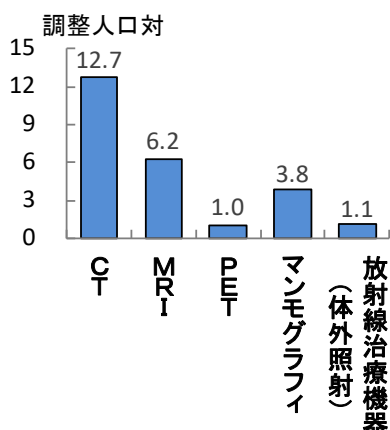


出典 厚生労働省「医療機器の調整人口あたり台数に係るに係るデータ集・グラフ」

【調整人口当たりの医療機器保有台数^{注1}】

○令和2年の調整人口当たりの医療機器の保有台数は、CTが12.7と最も高くなっています。

図表 3-8-28 調整人口当たりの医療機器保有台数(令和2年)



出典 厚生労働省「医療機器の調整人口あたり台数に係るに係るデータ集・グラフ」

(2) 医療機器の共同利用のあり方について

【保有している医療機器の中で他の医療機関と共同利用を行っているもの】

○令和5年現在、保有する医療機器の共同利用を行っている病院の割合は、CTで25.0%（令和元年には24.5%）、MRIで32.7%（同30.3%）、PETで20.0%（同50.0%）、マンモグラフィで9.7%（同5.6%）、放射線治療機器（リニアック及びガンマナイフ）で14.3%となっています。

図表 3-8-29 共同利用を行っている医療機器(令和5年)

医療機器	一般診療所					病院				
	共同利用を行っている		共同利用を行っていない		調査回答施設合計	共同利用を行っている		共同利用を行っていない		調査回答施設合計
	施設数	割合	施設数	割合		施設数	割合	施設数	割合	
CT	2	28.6%	5	71.4%	7	17	25.0%	51	75.0%	68
MRI	2	50.0%	2	50.0%	4	16	32.7%	33	67.3%	49
PET	0	-	0	-	0	1	20.0%	4	80.0%	5
マンモグラフィ	0	0%	1	100%	1	3	9.7%	28	90.3%	31
放射線治療機器(リニアック及びガンマナイフ)	1	100%	0	0%	1	2	14.3%	12	85.7%	14

出典 大阪府「医師確保計画及び外来医療計画の策定のための実態調査」

注1 調整人口当たりの医療機器保有台数：「地域の医療機器の台数/地域の人口（10万当たり）/地域の標準化検査率比」と定義しています。

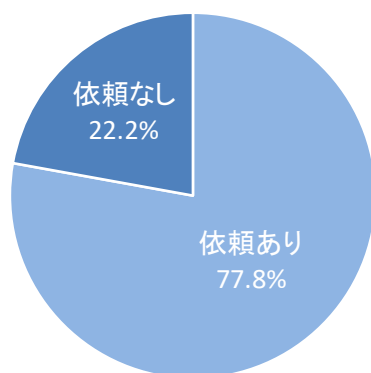
【医療機器の共同利用加算の算定有無】

○令和5年7月1日現在、医療機器の共同利用管理加算を算定している病院の割合は、7.6%（令和元年には3.3%）となっています（出典 大阪府「医師確保計画及び外来医療計画の策定のための実態調査」）。

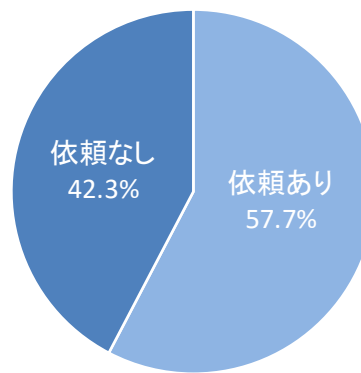
【他の医療機関への画像検査依頼の有無】

○令和5年7月1日現在、他の医療機関へ画像検査依頼をしたことがある医療機関の割合は、一般診療所で77.8%、病院で57.7%（令和元年には77.8%、67.0%）となっています。

図表 3-8-30 他の医療機関への画像検査依頼の有無【一般診療所】(令和5年)



図表 3-8-31 他の医療機関への画像検査依頼の有無【病院】(令和5年)



出典 大阪府「医師確保計画及び外来医療計画の策定のための実態調査」

【自院に検査機器がない場合の対応】

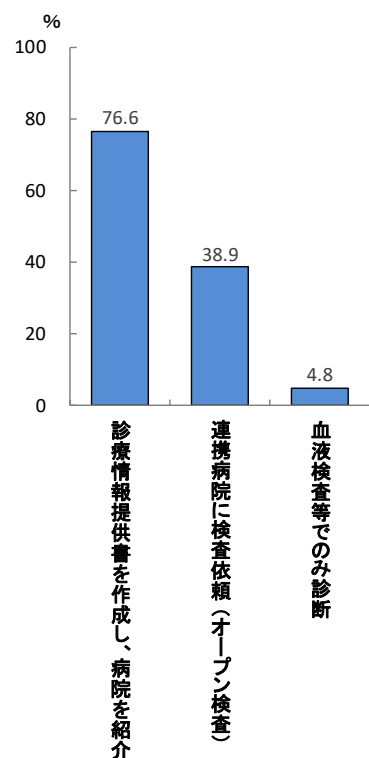
○令和5年現在、医療機関における自院に検査機器がない場合の対応は、診療情報提供書を作成し病院を紹介する医療機関が、一般診療所で76.6%、病院で77.2%（令和元年には84.7%、78.9%）、連携している病院に検査を依頼（オープン検査）する医療機関が一般診療所で38.9%、病院で41.8%（同43.2%、36.8%）、血液検査等でのみ診断する医療機関が、一般診療所で4.8%、病院で6.3%（同11.0%、7.4%）となっています。

図表 3-8-32 自院に検査機能がない場合の対応【一般診療所】(令和5年)

自院に検査機器がない場合の対応	一般診療所			病院		
	施設数	調査回答施設合計	割合	施設数	調査回答施設合計	割合
診療情報提供書を作成し、病院を紹介	128	167	76.6%	61	79	77.2%
連携病院に検査依頼（オープン検査）	65	167	38.9%	33	79	41.8%
血液検査等でのみ診断	8	167	4.8%	5	79	6.3%

出典 大阪府「医師確保計画及び外来医療計画の策定のための実態調査」

図表 3-8-33 自院に検査機能がない場合の対応【一般診療所】(令和5年)



出典 大阪府「医師確保計画及び外来医療計画の策定のための実態調査」

【医療機器別共同利用希望医療機関の割合】

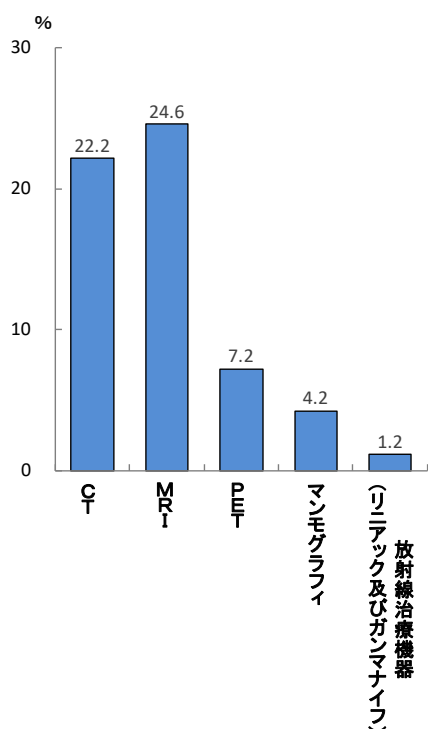
○令和5年7月1日現在、他の医療機関における医療機器の共同利用を希望する一般診療所の割合は、CTでは22.2%（令和元年には24.6%）、MRIでは24.6%（同29.7%）、PETでは7.2%（同9.3%）、マンモグラフィでは4.2%（同4.2%）、放射線治療機器（リニアック及びガンマナイフ）では1.2%となっています。

○他の医療機関における医療機器の共同利用を希望する病院の割合は、CTでは6.3%（令和元年には10.5%）、MRIでは11.4%（同16.8%）、PETでは12.7%（同18.9%）、マンモグラフィで0%（同6.3%）、放射線治療機器（リニアック及びガンマナイフ）では2.5%となっています。

図表 3-8-34 医療機器別共同利用希望医療機関の割合(令和5年)

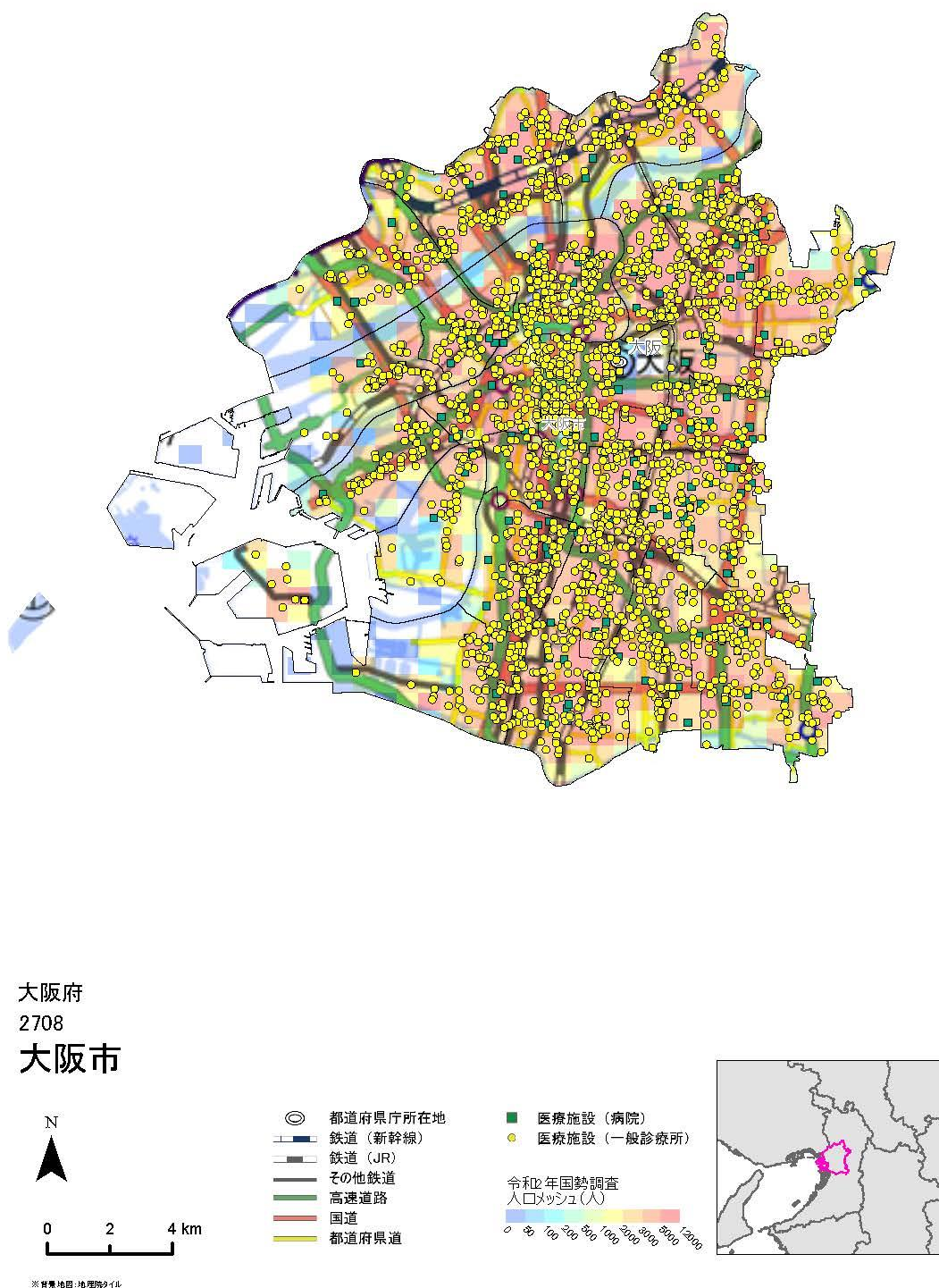
医療機器	一般診療所			病院		
	施設数	調査回答 施設合計	割合	施設数	調査回答 施設合計	割合
CT	37	167	22.2%	5	79	6.3%
MRI	41	167	24.6%	9	79	11.4%
PET	12	167	7.2%	10	79	12.7%
マンモグラフィ	7	167	4.2%	0	79	0%
放射線治療機器 (リニアック及びガンマナイフ)	2	167	1.2%	2	79	2.5%

図表 3-8-35 医療機器別共同利用希望医療機関の割合【一般診療所】(令和5年)



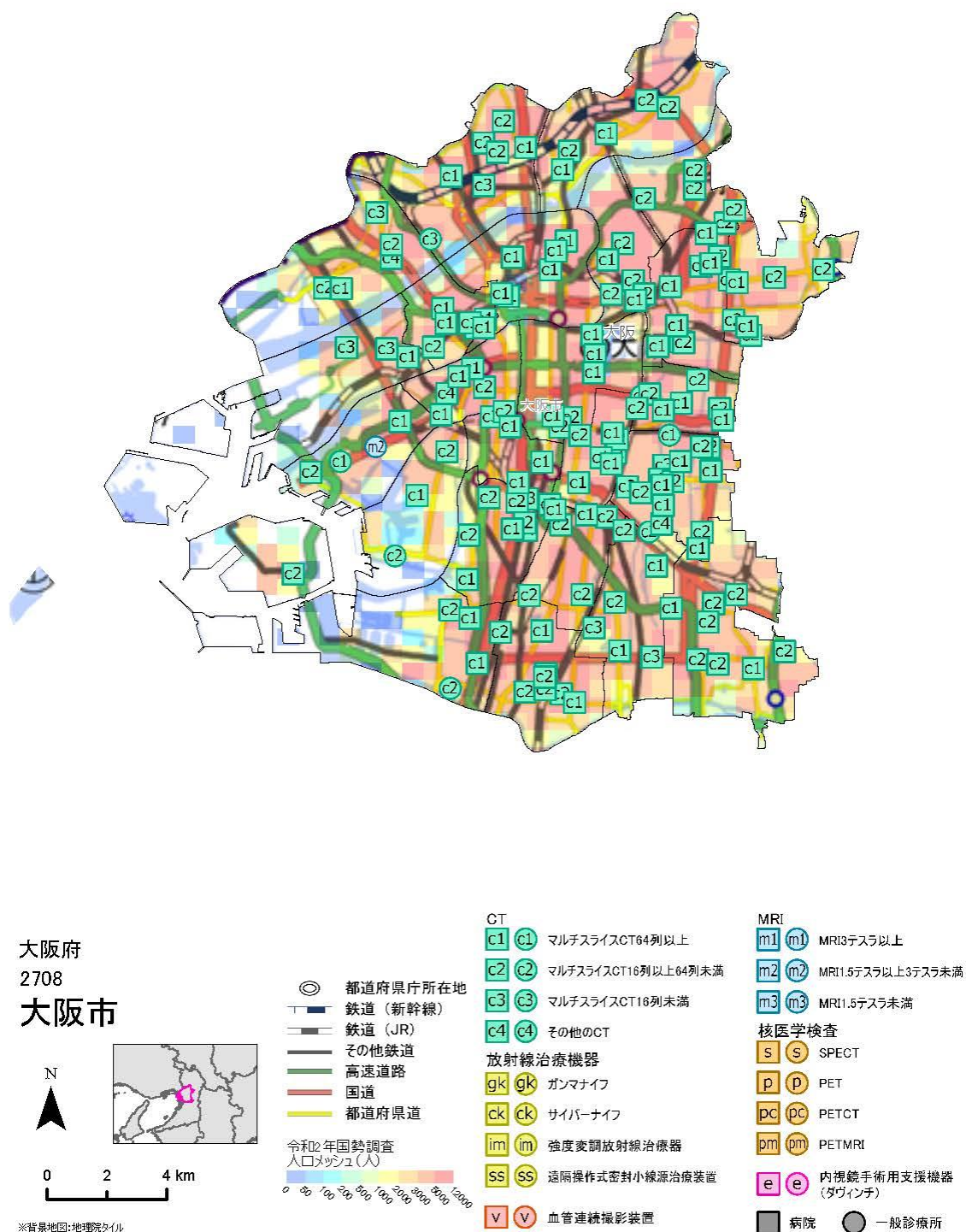
出典 大阪府「医師確保計画及び外来医療計画の策定のための実態調査」

医療機関(病院/一般診療所)の所在地マップ



出典 厚生労働省「外来医療に係る医療提供体制の確保に関するガイドライン～第8次(前期)～」

医療機器保有医療機関の所在地マップ



出典 厚生労働省「外来医療に係る医療提供体制の確保に関するガイドライン～第8次(前期)～」